

新潟米 マンスリーレポート

(令和4年12月号)

《今月の特集①》

県協議会において、令和5年産米の県生産目標を設定しました

国の需給見通しにおいては、全国の令和5年産主食用米生産量は令和4年産と同水準としており、令和4年産と同程度の主食用米の作付けとしています。

本県の需給見通しにおいても、令和6年6月末在庫を適正水準とするためには、令和5年産の主食用米の作付けは令和4年産と同水準とする必要があり、令和4年産並みの転換作物の作付けが必要です。

このため、国の需給見通しと、本県産米の在庫量を適正化する考えの両面から令和5年産の主食用米の作付面積は令和4年産実績と同等として設定しました。

また、非主食用米等の転換作物については、令和4年産の作付面積を維持するとともに、輸入に依存する大豆、麦、飼料作物等は需要に応じて作付拡大を図ることとしました。

引き続き米価の維持・向上に向け、需要に応じた生産に取り組みましょう。

【令和5年産 本県の主食用米の生産目標】

	県生産目標	R4実績比 (R4作況100の場合と比較)
生産量	545,400トン	同等
作付面積	99,900ha	

【令和5年産 転換作物の生産目標】

用途	目標面積	考え方
加工用米	7,700	・ 外食需要が見込まれる日本酒の掛け米需要増等に対応する
米粉用米	2,400	・ 米粉の消費拡大の取組と合わせ、作付の拡大を図る
新市場開拓用米	1,600	・ 輸出用米の販路開拓の取組等による需要増に応じ、作付の拡大を図る
飼料用米	3,590	・ 一般品種の取組について、多収品種での取組や他の非主食用米への転換、もしくは大豆等への転換を図る
WCS用稲	520	・ 輸入飼料の高騰により国産飼料の需要が高まっていることから、需要に応じ拡大を図る
飼料作物	320	
備蓄米	4,558	・ 県別優先枠についてしっかりと取り組む
大豆	4,300	・ 国産需要が高まっており、用途ごとに需要に応じ拡大を図る
麦	200	〃
そば	920	・ 外食需要が回復傾向であり、需要に応じ拡大を図る
高収益作物	5,550	・ 引き続き、機械化一貫体系の園芸作物等の拡大を図る

《今月の特集②》

国の令和5年度当初予算の概算決定について

12月23日に国の令和5年度当初予算が閣議決定されました。

水田農業関係は、「水田活用の直接支払交付金」と「コメ新市場開拓等促進事業」で合わせて令和4年度と同額の3,050億円となっています。

この他にも小麦・大豆の国産化の推進に関する事業や、水田農業の高収益化に関する事業について決定されています。

これらの事業や令和4年度補正事業、また、県産大豆等作付拡大緊急支援事業(県6月専決予算事業)等を積極的に活用し、輸入に依存する麦や大豆等の生産を拡大しましょう。

2 水田活用の直接支払交付金等

【令和5年度予算概算決定額 305,000 (305,000) 百万円】

<対策のポイント>

食料自給率・自給力の向上に資する**麦、大豆、米粉用米等の戦略作物の本作化**とともに、地域の特色をいかした**魅力的な産地づくり、産地と実需者との連携**に基づいた**低コスト生産の取組、畑地化による高収益作物等の定着**等を支援します。

<政策目標>

- 麦・大豆等の作付面積を拡大(麦30.7万ha、大豆17万ha、飼料用米9.7万ha [令和12年度まで])
- 実需者との結びつきのもとで、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 飼料用米、米粉用米の生産を拡大(飼料用米:70万t、米粉用米:13万t [令和12年度まで])

<事業の内容>

1. 戦略作物助成

水田を活用して、**麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米**を生産する農業者を支援します。

2. 産地交付金

「水田収益力強化ビジョン」に基づく、地域の特色を活かした**魅力的な産地づくりに向けた取組**を支援します。

3. 都道府県連携型助成

都道府県が**転換作物を生産する農業者を独自に支援**する場合に、農業者ごとの前年度からの転換拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額(上限:0.5万円/10a)で**国が追加的に支援**します。

4. コメ新市場開拓等促進事業

11,000百万円

産地と実需者との連携の下、**新市場開拓用米等の低コスト生産等の取組を行う農業者を支援**します。*8

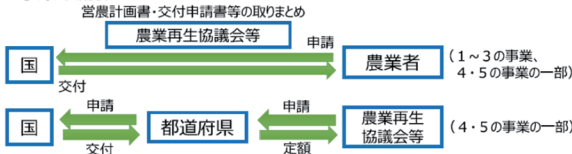
*8 予算の範囲内で、助成対象となる地域農業再生協議会を決定

5. 畑地化促進助成

2,215百万円

水田を畑地化し、**高収益作物やその他の畑作物の定着**を図る取組等を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

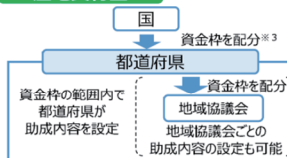
戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a*1
WCS用稲	8万円/10a
加工用米	2万円/10a
飼料用米、米粉用米	取量に応じ、5.5万円~10.5万円/10a*2

<交付対象水田>

- ・ たん水設備(畦畔等)や用水路等を有しない農地は交付対象外
- ・ 現場の課題を検証しつつ、5年間で一度も水張り(水稲作付)が行われない農地は令和9年度以降は交付対象水田としない
- ※1: 多年生牧草について、収穫のみを行う年は1万円/10a
- ※2: 飼料用米の一般品種について、令和5年度については従来と同様。令和6年度から標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a(5.5~7.5万円/10a)とする。

産地交付金



○ 当年産の以下の取組に応じて資金枠を追加配分

取組内容	配分単価
そば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物の作付け(基幹作のみ)	2万円/10a
新市場開拓用米の複数年契約	1万円/10a

*3: 作付転換の実績や計画等に基づき配分

畑地化促進助成

(令和4年度補正予算と併せて実施)

- 畑地化支援(高収益作物:17.5万円/10a*4、畑作物(高収益作物以外):14.0万円/10a*6) ※4: 令和5年度までの時限単価
- 定着促進支援
 - ア 高収益作物(2万円(3万円*7)/10a×5年間) (①とセット) ※5: 対象作物は、麦、大豆、飼料作物(牧草等)、子実用とうもろこし、そば等
 - イ 畑作物(高収益作物以外)*5(2万円/10a*6×5年間) ※6: 令和4年度補正予算における単価
- 産地づくり体制構築等支援 (①とセット) ※7: 加工・業務用野菜等の場合
- 子実用とうもろこし支援(1万円/10a)

【お問い合わせ先】 農産局企画課 (03-3597-0191)

(コメ新市場開拓等促進事業は次ページに掲載)

「コメ新市場開拓等促進事業」は新規事業になりますが、内容は令和3年度補正予算事業の水田リノベーション事業とほぼ同じものです。

地域農業再生協議会単位で、取組面積等の評価基準に基き、予算の範囲内での採択制になります。

なお、新市場開拓用米や加工用米の交付単価は令和3年度補正予算事業から変更ありません。

3 コメ新市場開拓等促進事業

【令和5年度予算概算決定額 11,000(－)百万円】

<対策のポイント>

需要拡大が期待される作物を生産する農業へと転換するため、**実需者との結び付きの下で、新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）の低コスト生産等に取り組む生産者を支援**します。

<事業目標>

- 実需者との結びつきの下で、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 米粉用米の生産を拡大（米粉用米13万ha〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組支援 11,000百万円

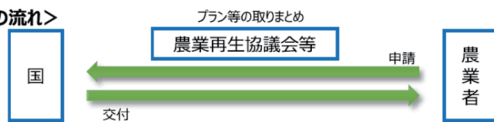
産地・実需協働プランに参画する生産者が、実需者ニーズに対応するための**低コスト生産等の技術導入を行う場合に、取組面積に応じて支援**します。

- ① **対象作物**：令和5年産の新市場開拓用米、加工用米、米粉用米（パン・めん用の専用品種）
- ② **交付単価**：新市場開拓用米 4万円/10a
加工用米 3万円/10a
米粉用米（パン・めん用の専用品種） 9万円/10a
- ③ **採択基準**：地域協議会単位で、取組面積等の評価基準（ポイント）に基き、**予算の範囲内で採択**

<留意事項>

- ※1 令和5年産の基幹作が対象です。
- ※2 農業者等が実需者と販売契約を締結する又はその計画を有していることが必要です。
- ※3 本支援の対象となった面積は、令和5年度水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成（加工用米、米粉用米）及び都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分（新市場開拓用米）の対象面積から除きます。
- ※4 予算額のうち、33百万円を農業再生協議会等の事務費として計上しています。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

【産地・実需協働プラン】

- ✓ 産地と実需者が連携し、新市場開拓用米、加工用米、米粉用米について、需要拡大のために必要な生産対策や需要の創出・拡大に係る取組内容、目標等を盛り込んだ計画

実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の技術導入



【例】スマート農業機器の活用



直播栽培



土壌診断に基づく施肥

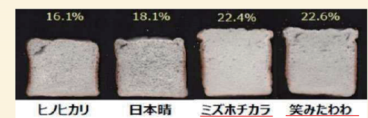
米粉用米（パン・めん用の専用品種）の例

（パン用の専用品種）

- ・ミスホチカラ
- ・笑みたわわ 等

（めん用の専用品種）

- ・亜細亜（あじあ）のかおり
- ・ふくのこ 等



【お問い合わせ先】農産局企画課（03-3597-0191）

このほかの事業は農林水産省ホームページで御確認ください。

(<https://www.maff.go.jp/j/budget/r5kettei.html>)

新潟米の販売状況

概況

令和4年11月末現在の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月と同程度となっている。

令和4年11月の新潟米の相対取引価格は前年同月に比べ、新潟一般コシヒカリが60kgあたり772円上回り、魚沼コシヒカリが827円上回っている。

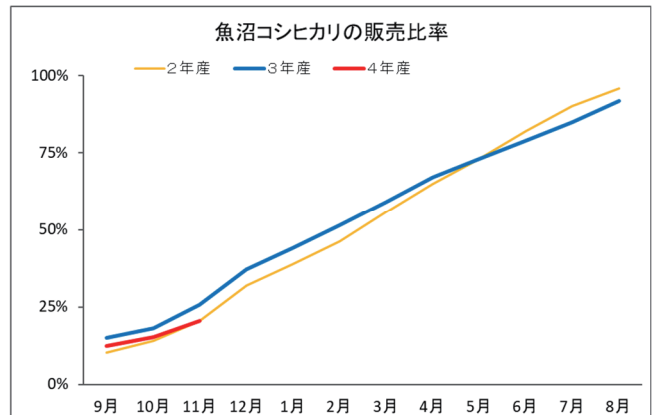
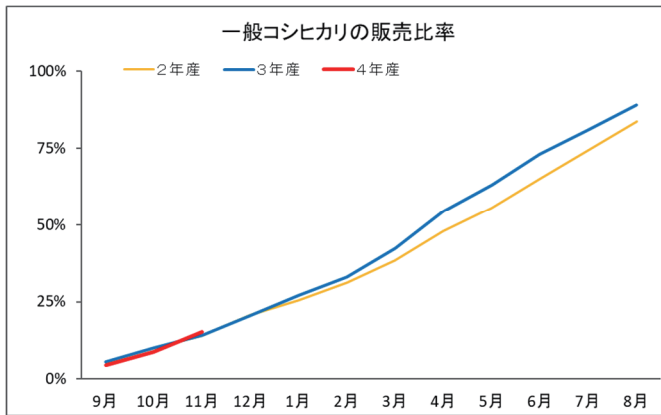
販売比率

(1) 一般コシヒカリ

11月末現在の4年産一般コシヒカリの販売比率は15%となっており、3年産比1ポイント増、2年産比1ポイント増となっている。

(2) 魚沼コシヒカリ

11月末現在の4年産魚沼コシヒカリの販売比率は20%となっており、3年産比6ポイント減、2年産と同程度となっている。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	2年産	5%	10%	14%	21%	26%	31%	39%	48%	56%	65%	74%	84%
	3年産	6%	10%	14%	21%	27%	33%	42%	55%	63%	73%	81%	89%
	4年産	5%	9%	15%									
魚沼コシヒカリ	2年産	10%	14%	20%	32%	39%	46%	56%	65%	73%	82%	90%	96%
	3年産	15%	18%	26%	37%	44%	51%	59%	67%	73%	79%	85%	92%
	4年産	12%	15%	20%									
佐渡コシヒカリ	2年産	3%	14%	20%	28%	35%	44%	54%	61%	70%	77%	84%	90%
	3年産	4%	15%	20%	27%	36%	41%	50%	58%	65%	73%	80%	87%
	4年産	5%	13%	18%									
岩船コシヒカリ	2年産	5%	11%	17%	25%	33%	38%	46%	54%	59%	66%	75%	82%
	3年産	8%	11%	18%	27%	33%	40%	48%	56%	61%	70%	75%	87%
	4年産	11%	11%	17%									

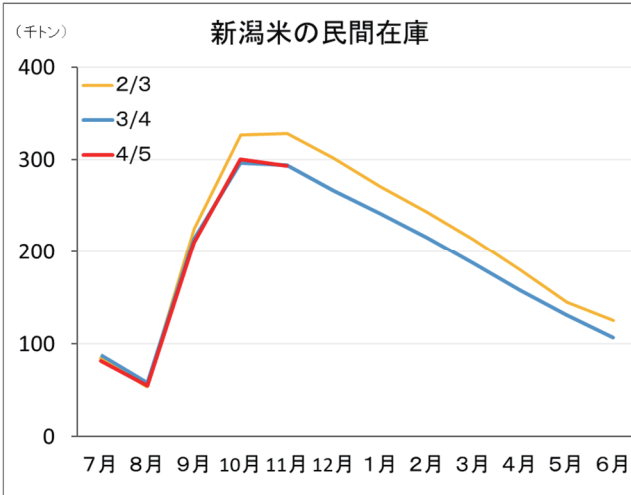
(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

在庫状況

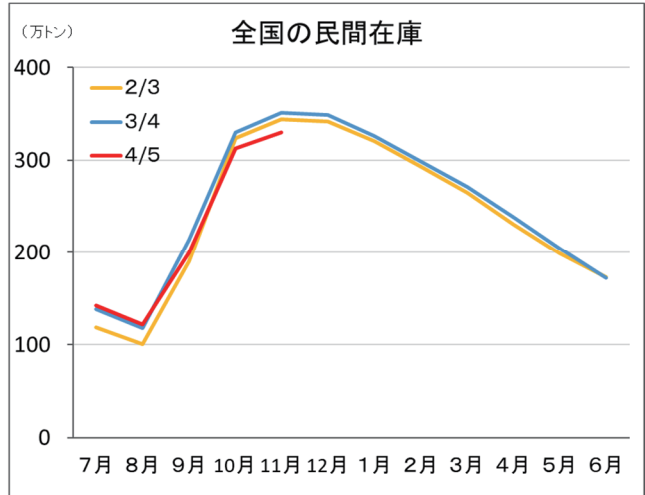
(1)新潟米

11月末現在の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月と同程度、前々年同月から34千トン減の294千トンとなった。



(2)全国

11月末現在の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から21万トン減、前々年同月から14万トン減の330万トンとなった。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
新潟米	2/3	85	54	225	327	328	301	271	243	213	180	145	125	
	2年産米	0	0	189	298	304	282	256	231	203	172	139	120	
	1年古米(元年産)	84	53	36	28	24	19	15	12	10	8	6	5	
	3/4	88	58	214	296	294	267	241	216	187	158	131	107	
	3年産米	0	1	175	266	268	245	223	200	174	147	121	98	
	1年古米(2年産)	84	54	35	28	24	20	17	14	12	11	10	8	
	4/5	82	55	210	301	294								
	4年産米	0	1	177	274	272								
	1年古米(3年産)	74	48	28	23	19								
全国	2/3	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173	
	2年産米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162	
	1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7	
	3/4	138	118	214	330	351	349	326	299	271	238	204	172	
	3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149	
	1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17	
	4/5	142	122	200	313	330								
	4年産米	1	12	113	237	264								
	1年古米(3年産)	124	94	71	58	49								

資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

注: 1 出荷段階及び販売段階における水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

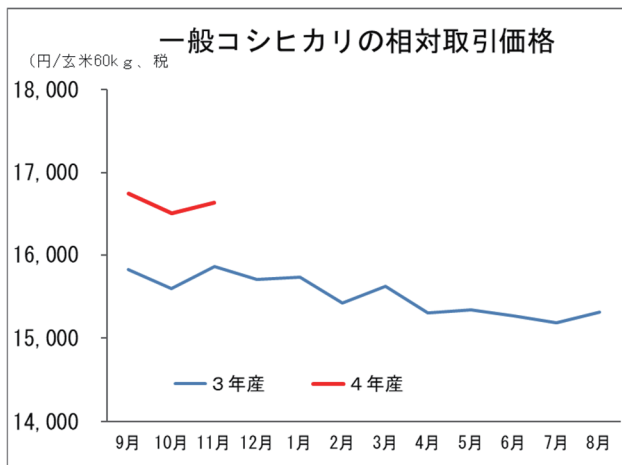
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

相対取引価格

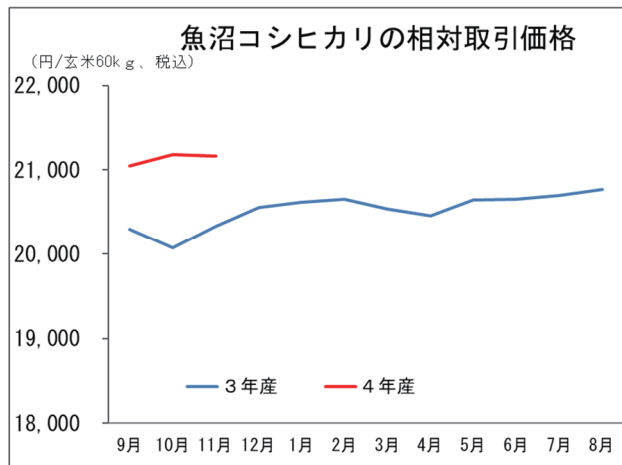
(1)一般コシヒカリ

11月の一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ772円上回り、16,636円(玄米60kg、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

11月の魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ827円上回り、21,161円(玄米60kg、税込)となった。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	2年産	16,871	16,713	16,776	16,761	16,828	16,794	16,666	16,605	16,612	16,176	15,776	15,729
	3年産	15,820	15,596	15,864	15,702	15,732	15,426	15,624	15,300	15,343	15,265	15,182	15,315
	4年産	16,751	16,510	16,636									
魚沼コシヒカリ	2年産	20,595	20,733	20,049	20,437	20,665	20,492	20,249	19,795	20,228	20,098	20,337	20,360
	3年産	20,301	20,071	20,334	20,555	20,620	20,655	20,535	20,460	20,644	20,659	20,704	20,770
	4年産	21,047	21,179	21,161									
佐渡コシヒカリ	2年産	17,264	17,273	17,533	17,278	17,229	17,330	17,299	17,132	17,117	16,603	14,701	16,244
	3年産	16,194	16,190	16,216	16,555	16,204	16,129	16,070	16,620	16,527	-	-	-
	4年産	17,182	17,215	17,245									
岩船コシヒカリ	2年産	17,292	17,276	17,258	17,241	17,226	17,245	17,243	17,194	17,048	16,608	15,678	14,451
	3年産	16,198	16,161	16,142	16,184	16,179	15,786	15,980	-	-	-	-	-
	4年産	17,144	16,893	17,284									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

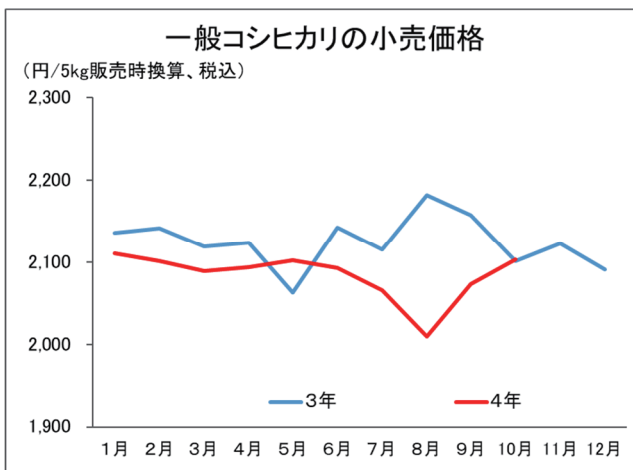
(注)「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

小売価格

(POSデータ)

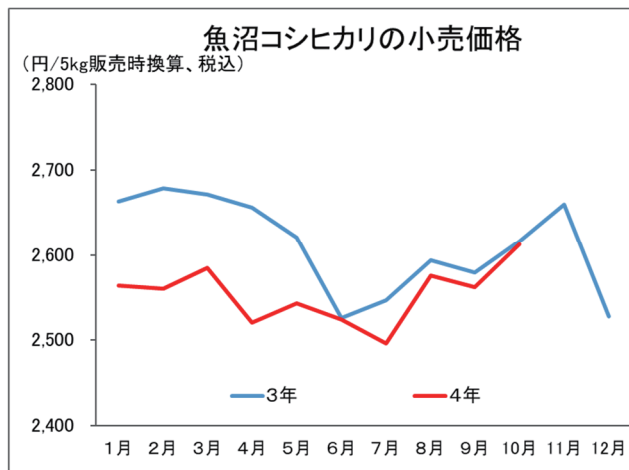
(1)一般コシヒカリ

10月の一般コシヒカリの小売価格は、前年同様に比べ2円上回り、2,103円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

10月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年同様に比べ3円下回り、2,613円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般 コシヒカリ	2年	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180	2,162	2,126
	3年	2,136	2,142	2,119	2,124	2,063	2,143	2,115	2,182	2,158	2,101	2,123	2,091
	4年	2,111	2,101	2,089	2,094	2,102	2,093	2,066	2,010	2,073	2,103		
魚沼 コシヒカリ	2年	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656	2,665	2,580
	3年	2,663	2,679	2,672	2,656	2,621	2,526	2,547	2,594	2,579	2,616	2,660	2,528
	4年	2,564	2,560	2,585	2,521	2,543	2,524	2,496	2,576	2,562	2,613		
岩船 コシヒカリ	2年	2,261	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐渡 コシヒカリ	2年	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262	2,249	2,278
	3年	2,274	2,267	2,285	2,280	2,254	2,242	2,329	2,289	2,313	2,147	2,194	2,139
	4年	2,196	2,150	2,145	2,149	2,206	2,133	2,201	2,114	2,149	2,168		

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「—」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

編集後記～2023年も間近～

こんにちは！2022年ももうすぐ終わり。年越しの準備はもうお済みでしょうか？

お正月といえばお餅ですね。鏡餅やお雑煮など、欠かすことのできない存在です。

新潟は米どころですので、きっと消費量も全国トップクラスのはず！と思い、意気揚々と

餅の消費量の全国ランキングや統計をいろいろ調べてみたのですが、

どれも全国中位程度とあまり振るわず…。

驚いてしまったのですが、自らの餅人生を振り返ると自宅をついた餅を食べていることに気づきました。

もしかしたら餅の「購入」をしていないだけではないか、と思い至り、少し気持ちを持ち直しました。

消費量アップへ少しでも貢献するため、今年はいつもとよりたくさんお餅を食べようと思います。



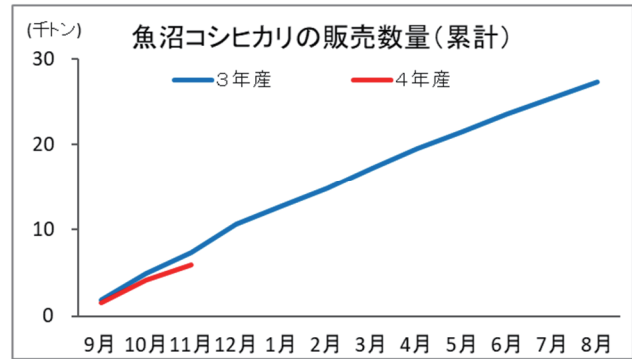
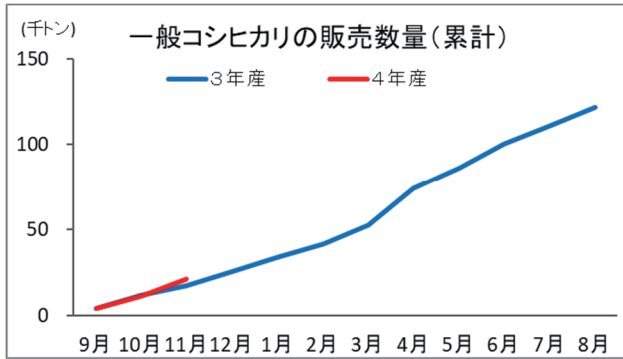
発行元：新潟県農林水産部農産園芸課

TEL：025-280-5295

URL：https://www.niigatamai.info

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

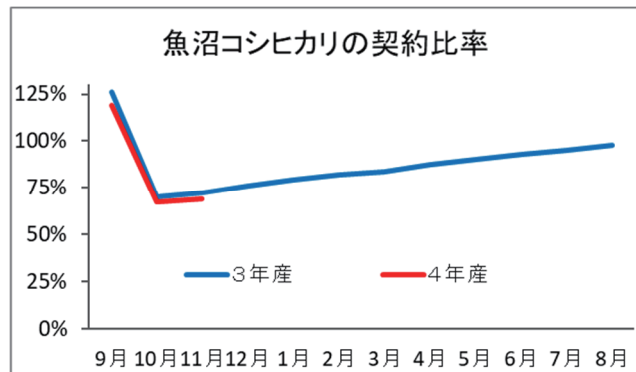
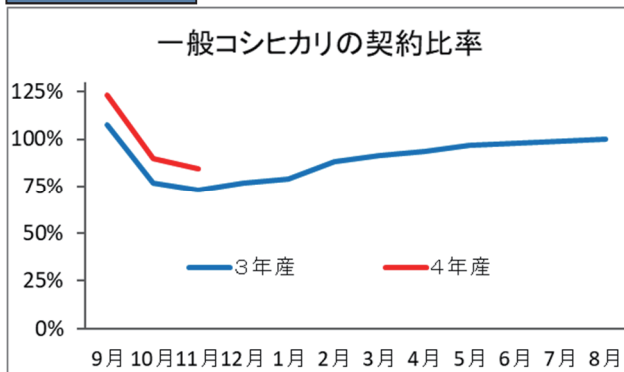
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	2年産	4.2	12.1	18.7	27.9	34.0	41.5	51.4	64.0	73.9	87.0	99.7	112.1
	3年産	4.3	11.7	17.5	25.7	33.6	41.2	52.7	74.0	86.1	100.0	110.8	121.7
	4年産	4.0	11.1	21.2									
魚沼 コシヒカリ	2年産	1.5	4.5	6.9	10.8	13.1	15.6	18.8	22.0	24.8	28.0	30.8	32.7
	3年産	1.9	5.0	7.4	10.7	12.7	14.9	17.2	19.6	21.5	23.6	25.5	27.3
	4年産	1.5	4.2	5.9									
佐渡 コシヒカリ	2年産	0.2	1.7	2.9	4.0	5.0	6.2	7.7	8.7	9.9	11.0	12.0	12.9
	3年産	0.2	1.7	2.7	3.7	5.0	5.7	6.9	8.0	9.0	10.1	11.1	12.1
	4年産	0.3	1.6	2.6									
岩船 コシヒカリ	2年産	0.2	1.3	2.0	3.0	3.9	4.5	5.4	6.4	7.0	7.9	8.9	9.8
	3年産	0.3	1.2	2.0	3.0	3.6	4.4	5.2	6.1	6.7	7.7	8.3	9.6
	4年産	0.3	1.1	1.7									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	2年産	101%	74%	79%	79%	81%	84%	87%	89%	91%	92%	97%	99%
	3年産	108%	77%	73%	77%	79%	88%	91%	94%	97%	98%	99%	100%
	4年産	123%	90%	85%									
魚沼 コシヒカリ	2年産	81%	44%	47%	54%	58%	64%	70%	79%	83%	90%	96%	98%
	3年産	126%	70%	72%	76%	79%	82%	84%	87%	90%	93%	95%	98%
	4年産	119%	67%	69%									
佐渡 コシヒカリ	2年産	212%	105%	91%	92%	92%	94%	96%	97%	99%	99%	99%	100%
	3年産	271%	106%	89%	91%	91%	94%	99%	99%	99%	99%	100%	100%
	4年産	227%	105%	89%									
岩船 コシヒカリ	2年産	235%	77%	91%	92%	89%	89%	90%	90%	92%	92%	88%	99%
	3年産	268%	90%	90%	90%	91%	91%	101%	102%	102%	102%	100%	100%
	4年産	367%	97%	96%									

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。